



開催概要

第7回アフリカ開発会議 開催概要	004
TICAD7公式ロゴ	006
横浜市の取組テーマと方向性	007
開催実績	008

第7回アフリカ開発会議 開催概要

概要

アフリカ開発会議 (Tokyo International Conference on African Development 略称 TICAD) とは、アフリカの開発をテーマとする国際会議です。1993年以降、日本が主導し、国連、国連開発計画 (UNDP)、世界銀行、アフリカ連合委員会 (AUC) と共同で開催しています。2008年の第4回、2013年の第5回に続いて、第7回会議が横浜で開催されました。

会期等

- 1 会期
令和元年8月28日(水)～30日(金)
- 2 主会場
パシフィコ横浜
- 3 テーマ
「アフリカに躍進を！ ひと、技術、イノベーションで。」

TICAD7 プログラム

	8月27日(火)		8月28日(水)	
	TICAD7関連行事	市主催・協力等	TICAD7関連行事	市主催・協力等
午前		コートジボワール共和国首相 市会歓迎行事(懇談、議場演説)		ブルキナファソ大統領と市長との面会 モザンビーク・マプト市長と副市長との面会 世界銀行グローバルディレクターと副市長との面会
昼		コートジボワール共和国首相 市会歓迎行事(議長主催昼餐会)		
午後	閣僚事前準備会合	「アフリカのきれいな街プラットフォーム」第2回全体会合 第2回「日・アフリカ官民インフラ会議」	【写真撮影】 【開会式/全体会合1】 総論及びアフリカ開発の将来 【全体会合2】 民間セクター育成やイノベーションを通じた経済構造転換の加速とビジネス環境整備	子どもたちによる各国首脳お出迎え シンポジウム「女性と少女が変えるアフリカの未来」
夜			総理・横浜市長共催歓迎レセプション	
				国際交流基金チャリティコンサート「TICAD7 LIVE HEART FOR AFRICA」

4 会議のポイント

- ・安倍総理から、対アフリカ民間投資が今後更に大きくなるよう、政府として全力を尽くす旨表明。
- ・TICAD史上初めて、民間企業を公式なパートナーと位置づけ、日アフリカ官民の直接対話を実施。
- ・「横浜宣言2019」を採択し、「横浜行動計画2019」をその付属文書として発表。



全体集合写真



安倍総理による開会宣言

	8月29日(木)		8月30日(金)	8月31日(土)
	TICAD7 関連行事	市主催・協力等	TICAD7 関連行事	市主催・協力等
	【全体会合3】 官民ビジネス対話セッション	総理夫人主催配偶者プログラム(懇談会)	【全体会合5】 平和と安定の強化 【全体会合6】 テーマ別会合報告・総括 【閉会式】	
昼				第3回野口英世アフリカ賞受賞者歓迎行事(市長主催昼食会)
午後	【全体会合4】 持続可能で強じんな社会の深化 【テーマ別会合】 (同時並行開催) ①科学技術イノベーション ②人材育成・起業のための教育 ③農業 ④気候変動・防災 ⑤ブルーエコノミー	総理夫人主催配偶者プログラム(昼食会)	【共同記者会見】 宮中茶会	第3回野口英世アフリカ賞受賞者歓迎行事(式典)
夜	総理大臣主催晩餐会		第3回野口英世アフリカ賞授賞式及び記念晩餐会	

TICAD7 公式ロゴ

概要

会議の横浜開催をPRするために、外務省に TICAD7 公式ロゴデザインを提案し、日本政府ほか共催者により決定されました。

公式ロゴは、政府主催の公式行事等のほか、共催者をはじめとする各種団体・機関の行事でも、広く使用されました。



河野外務大臣及び横浜市長による公式ロゴ発表
(平成30年10月TICAD閣僚会合)

内容

ロゴの意味

- ・ TICAD V のロゴデザインを基本にバリエーションを展開しています。
- ・ 「7」はこれからのアフリカの持続的な経済成長のベクトルを示しており、アフリカ各国の人々が共同で輝く未来へ突き進んでいく力を表します。
- ・ 表現色の「赤」は輝く太陽・人間の団結、「緑」はアフリカの美しい大自然・豊かな農業、「黄」は肥沃な大地・希望を表し、自然と調和した持続可能な成長をイメージしています。



TICAD7 公式ロゴ

横浜市の取組テーマと方向性

概要

横浜市の取組テーマを『アフリカと横浜、あふれる力でともに未来へ』としました。事業を進める際は、国際技術協力の拡大、ビジネス支援の強化・女性の活躍推進、次世代育成・市民交流の充実の3つの方向性に沿って取組を実施しました。

取組テーマ

『アフリカと横浜、あふれる力でともに未来へ』

英語：

『Africa and Yokohama, Sharing Passion for the Future』

フランス語：

『Afrique et Yokohama, partageant une passion pour le futur』

テーマに込めた思い

- ・ TICAD7開催を契機として、横浜が産官学の力を合わせてアフリカとともに「成長する未来」を創っていく決意を表します。
- ・ 「あふれる力」は、未来に向けたアフリカの目覚ましい発展の原動力を表し、また、無限の可能性を持つ「アフリカと横浜の若者」を応援する思いも込めています。

取組の方向性

- ・ 水道・港湾・廃棄物管理分野等での研修員受け入れ
- ・ 「アフリカのきれいな街プラットフォーム」
- ・ 日・アフリカ官民インフラ会議 等

国際技術協力の拡大

ビジネス支援の強化、 女性の活躍推進

- ・ ジャパン・フェアへの出展
- ・ シンポジウムの開催
- ・ ビジネスセミナーの開催
- ・ 「日アフリカ・ビジネスウーマン交流プログラム」の実施 等

次世代育成・ 市民交流の充実

- ・ アフリカとの一校一団
- ・ アフリカ開発学生会議 in 横浜
- ・ 区局実施イベント
- ・ アフリカ月間2019
- ・ 大型イベントとの連携
- ・ 企業・団体等実施イベント 等

開催実績

参加者数

横浜市開催推進事業

	国数・件数等	人数
横浜市開催推進事業	国際技術協力	17件 約1,200人
	ビジネス支援の拡大、女性の活躍推進	17件 約3,700人
	次世代育成・市民交流の充実	339件 約228,000人
	会議参加者との交流等	10件 約1,400人
合計	383件	約234,300人

※ 横浜市開催推進事業は「会期等における横浜市の取組」、「会議までの横浜市の取組」に取組内容を掲載

会議参加者、公式サイドイベント等

	国数・件数等	人数
会議参加者	42名の首脳級を含むアフリカ53か国、開発パートナー52か国、108の国際機関・地域機関、民間セクター、NGOの代表等	10,000人以上
公式サイドイベント等	セミナー・シンポジウム ブース展示	約140件 約100件 会議センター 約10,000人 展示ホールB・アネックスホール 延べ10,000人
	「日本・アフリカビジネスEXPO」	約21,000人
	「第2回日・アフリカ官民インフラ会議」	約500人

経済波及効果、パブリシティ効果

内容

1 経済波及効果

観光庁が公開する、「MICE開催による経済波及効果測定のための簡易測定モデル(MICE簡易測定モデル)」によると、本市への経済波及効果は、約27億6,900万円と推計されます。

2 パブリシティ効果

国内のメディア露出による広告価値換算額は、約155億円です。

調査対象期間：平成30年4月1日～
令和元年9月30日
調査対象媒体：テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・
Web
露出件数：15,968件
広告価値換算額：約155億円

※検索キーワードは「アフリカ開発会議(TICAD)」
と「横浜」

広告価値換算額内訳

※百万円以下を四捨五入

媒体種類	平成30年度(A) H30.4.1～H31.3.31		令和元年度(B) H31.4.1～R1.9.30		A+B H30.4.1～R1.9.30	
	掲載件数 (件)	広告換算額 (税込・百万円)	掲載件数 (件)	広告換算額 (税込・百万円)	掲載件数 (件)	広告換算額 (税込・百万円)
テレビ	42	3,207	177	4,444	219	7,651
ラジオ	7	2	6	6	13	8
新聞	601	427	3,758	4,905	4,359	5,332
雑誌	18	1	71	136	89	137
Web	1,383	294	9,905	2,078	11,288	2,372
合計	2,051	3,931	13,917	11,569	15,968	15,500